

氏名 <small>(法人にあっては名称)</small>	地方独立行政法人 広島市立病院機構
住所	広島市中区基町7番33号
計画期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日
基準年度(*1)	平成30年度～令和2年度 (平均)

1 事業者の要件 ((1)、(2)については、特定年度(*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量)

該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> (1)原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上 (特定事業者) <input type="checkbox"/> (2)エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上 (特定事業者) <input type="checkbox"/> (3)特定事業者以外の事業者
------------	---

2 事業の概要

事業者の業種	一般病院 (主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号：8311)
事業概要	病院事業として広島市立広島市民病院、広島市立北部医療センター安佐市民病院、広島市立舟入市民病院、広島市立リハビリテーション病院の4病院を運営している。

3 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下限は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	平成30～令和2年度 (平均値)	令和3～令和5年度 (平均値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3～令和5年度 (平均値)
温室効果ガス実排出量(*5)	24,266 t-CO ₂	23,784 t-CO ₂	20,857 t-CO ₂	20,398 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		2.0 %	14.0 %	15.9 %	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*6)		23,784 t-CO ₂	20,857 t-CO ₂	20,398 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		2.0 %	14.0 %	15.9 %	%	%
実績に対する自己評価	各事業所での取り組みにより、温室効果ガスを削減することができた。					

- *1 基準年度とは、温室効果ガスの抑制割合を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去3か年度の平均値とすることができる。
- *2 特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。
- *3 原油換算エネルギー使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。
- *4 温室効果ガス排出量とは、二酸化炭素(エネルギー起源のもの及び非エネルギー起源のもの)、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン及び六ふっ化硫黄)の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものをいう。
- *5 温室効果ガス実排出量とは、上記(*4)のうちエネルギー起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ガス排出量が特定事業者単位で3,000トン以上のものの排出量の合算をいう。
- *6 温室効果ガスみなし排出量とは、上記(*5)に対して環境価値(*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ガスみなし排出量は、温室効果ガス実排出量と等しくなる。

(2) 事業分類ごとの原単位(*7)の抑制に関する目標の達成状況 (※任意記載)

(※原単位の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$)

事業分類	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	平成30~令和2年度 (平均値)	令和3~令和5年度 (平均値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3~令和5年度 (平均値)
		%	%	%	%	%
		%	%	%	%	%
		%	%	%	%	%
原単位の指標及び実績に対する自己評価						

(3) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

・省エネ法に基づく中長期計画書を作成し、全事業所における温室効果ガスの排出の抑制に努めた。

(4) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値(*8)の活用等)

・特になし

4 その他の取組の実施状況

・照明消灯時間の見直し、クールビズ・ウォームビズの実施によりエネルギー消費量の削減に努めた。
 ・グリーン購入に努めた。

*7 原単位とは、温室効果ガス排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいう。
 *8 環境価値とは、ワセツクレジット制度等により、温室効果ガスの排出削減等を行うプロジェクトを通じて生成される温室効果ガスの削減量等をいう。なお、温室効果ガスみなし排出量(*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	広島市立広島市民病院
事業所の所在地	広島市中区基町7番33号
事業所の業種	一般病院
事業の概要	病院事業

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和2年度	令和3~令和5年度(平均値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3~令和5年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	11,351 t-CO ₂	11,237 t-CO ₂	11,135 t-CO ₂	10,892 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		1.0 %	1.9 %	4.0 %	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		11,237 t-CO ₂	11,135 t-CO ₂	10,892 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		1.0 %	1.9 %	4.0 %	%	%
実績に対する自己評価	防災センターの24時間中央監視体制、日常・週例・月例巡回点検等による異常・故障時の緊急処置、予防保全、修繕計画等の成果と思われる。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・照明箇所によっては中央監視のタイムスケジュールにより、エネルギーロスが生じないよう見直し及び修正を適宜行っている。 ・空調設備(PMAC製/約240台)の洗浄型フィルターを、標準タイプ(中性能フィルター)に入れ替えたため、室内機本体の熱交換器への負荷低減や寿命、冷房能力の回復及び設定温度に至る運転時間のロスが低減されていると推定される。

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況(環境価値の活用等)

<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
--

2 その他の取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・東棟外来(2F~4F)診察待合コーナーにおいては、夏期(6月~10月)限定対策として、プロムナード棟吹き抜け部との流動空間を、ロールスクリーンで遮蔽し、待合室側は扇風機により室内を攪拌している。 また、中央監視による空調制御と併せて負荷軽減を図っている。(毎年)
--

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	広島市立北部医療センター安佐市民病院
事業所の所在地	広島市安佐北区亀山南一丁目2番1号
事業所の業種	一般病院
事業の概要	病院事業

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和2年度	令和3~令和5年度(平均値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3~令和5年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	5,885 t-CO ₂	5,826 t-CO ₂	5,801 t-CO ₂	5,663 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		1.0 %	1.4 %	3.8 %	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		5,826 t-CO ₂	5,801 t-CO ₂	5,663 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		1.0 %	1.4 %	3.8 %	%	%
実績に対する自己評価	令和4年5月1日に新病院として移転開院したため、実績値の比較が困難である。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・チラー効率運転の実施 (温度管理の徹底) ・デマンド警報の最適化 (自動制御) ・室内温度の標準化の徹底 ・外気調和機の温度管理 ・太陽光の導入

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値の活用等)

特になし

2 その他の取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・屋上散水の検討
--